

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神障害作業療法治療学演習		必修	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
幸 信歩	C311	shihou.yuki		月曜日 9:00-10:30	
授業の目的・概要	本科目では精神障害領域における作業療法士の思考過程と技術の展開方法を学修する。またロールプレイなどを通して、精神科作業療法実践過程で必要な視点を理解する。そして、国家試験に向けて必要となる知識を学修する。臨床で用いられやすい治療方法を説明する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> その他 (ロールプレイ) <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	本科目は精神医学、作業療法評価学・治療学で学修した知識をもとに演習を行うため、これまでの学修内容の復習を十分に行っておくこと。演習・グループワークを中心とした授業を行うため、各自が主体性と自発性を持ち、メンバー間で協調性を持ち取り組む姿勢が大切である。				
教科書	指定なし				
参考書	標準理学療法学・作業療法学 精神医学 第4版/編:上野武治/医学書院/2015 標準作業療法学 精神機能作業療法学 第3版/編:新宮尚人/医学書院/2020 精神障害と作業療法 新版/山根寛/三輪書店/2017				
外部教材	必要に応じてプリントを配布する				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神障害作業療法で用いられる治療技術について説明することができる			OT (1)、(2)、(3)	
②	治療者としての自覚を持ち、運営やリスク管理について検討できる			OT (1)、(2)、(3)	
③	作業療法プログラムの計画から実施までの一連の流れを経験する			OT (2)、(3)	
④	発表に向けたグループワークにおいて自身の役割に責任をもつことができる			OT (1)、(3)	
⑤	実施したプログラムの治療的根拠や患者への関わりにおける留意点を説明できる			OT (1)、(2)、(3)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション、精神障害領域における作業療法介入について 当事者研究(活動)を含む	講義・演習	[事前学習] 精神障害作業療法治療学の復習 [事後学習] 授業資料を用いた復習	1	
2	コミュニケーション・スキルを学習する① 基本	演習	[事前学習] 精神障害作業療法治療学の復習 [事後学習] 演習実施についてのレポートをまとめる	1	
3	コミュニケーション・スキルを学習する② 実技応用	演習		1	
4	コミュニケーション・スキルを学習する③ 実技応用	演習		1	
5	心理教育に関連する理論を学習する	講義	[事前学習] 精神障害作業療法治療学の復習 [事後学習] 授業資料を用いた復習	1	
6	心理教育の演習 (ロールプレイ) を通して学習する	演習	[事前学習] 第5回目の授業での配布プリントの復習 [事後学習] 演習実施についてのレポートをまとめる	1	
7	認知行動療法の理論と SST の理論を学習する	講義	[事前学習] 精神障害作業療法治療学の復習 [事後学習] 授業資料を用いた復習	1	
8	SST の演習 (ロールプレイ) を通して学習する	演習	[事前学習] 第7回目の授業での配布プリントの復習 [事後学習] 演習実施についてのレポートをまとめる	1	

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

9	作業面接の実技を実践する①	演習	[事前学習] 精神障害作業療法治療学の復習	1			
10	作業面接の実技を実践する②	演習	[事後学習] 授業資料を用いた復習	1			
11	統合失調症の作業療法治療を演習（ロールプレイ）で学習する①	演習	[事前学習] 精神障害作業療法治療学、精神医学の復習	1			
12	統合失調症の作業療法治療を演習（ロールプレイ）で学習する② 統合失調症の作業療法治療まとめ	演習	[事後学習] 演習実施についてのレポートをまとめる	1			
13	躁鬱（気分障害）の作業療法治療を演習（ロールプレイ）で学習する①	演習	[事前学習] 精神障害作業療法治療学、精神医学の復習	1			
14	躁鬱（気分障害）の作業療法治療を演習（ロールプレイ）で学習する② 躁鬱（気分障害）の作業療法治療まとめ	演習	[事後学習] 演習実施についてのレポートをまとめる	1			
15	アディクションの作業療法①	演習	[事前学習] 精神障害作業療法治療学、精神医学の復習	1			
16	アディクションの作業療法②	演習	[事後学習] 演習実施についてのレポートをまとめる	1			
17	アディクションの作業療法、まとめ	講義・演習	[事前学習] 精神障害作業療法治療学、精神医学の復習	1			
18	摂食障害、パーソナリティ障害の作業療法①	講義・演習	[事後学習] teams で復習	1			
19	摂食障害、パーソナリティ障害の作業療法②	講義・GW	[事前学習] 精神障害作業療法治療学、精神医学の復習	1			
20	パーソナリティ障害の作業療法、まとめ 摂食障害の作業療法、まとめ	講義・演習	[事後学習] 演習実施についてのレポートをまとめる	1			
21	「作業療法士になるために」特別講義	講義・演習	[事前学習] 精神障害作業療法治療学、精神医学の復習	1			
22	神経症圏の作業療法①	講義・演習	[事後学習] teams で復習	1			
23	神経症圏の作業療法②	講義	[事前学習] 精神障害作業療法治療学、精神医学の復習	1			
24	神経症圏の作業療法まとめ 全体のまとめ	講義・演習	[事後学習] 演習実施についてのレポートをまとめる	1			
25	精神科臨床の実際 精神障害者当事者の体験談を聴く	講義・演習	[事前学習] 精神障害作業療法治療学、精神医学の復習	1			
26	精神科臨床での実際の支援 OTR と PSW の対談	演習・GW	[事後学習] 演習実施についてのレポートをまとめる	1			
27	精神障害における治療方法探索検討①（検索・資料収集）	演習・GW	配布した課題を解決するための文献検索・資料収集	1			
28	精神障害における治療方法探索検討②（検索・資料収集）	演習・GW		1			
29	精神障害における治療方法探索検討③（発表）	演習・GW	課題をスライドにして発表する	1			
30	精神障害における治療方法探索検討④（発表）	演習・GW		1			
試	定期試験						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		45	50	5	0	0	100

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

総合力指標	知識・技術力	45	5	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	0	5	0	0	0	5
	協調性・リーダーシップ	0	5	0	0	0	5
	発表・表現伝達する力	0	5	0	0	0	5
	コミュニケーション力	0	5	0	0	0	5
	取組みの姿勢・意欲	0	15	5	0	0	20
	問題を発見・解決する力	0	10		0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に精神障害作業療法における評価・治療介入の実地知識に関する試験を実施して評価する。試験は作業療法士国家試験の出題範囲・形式に準ずる。試験は総合評価の45%に換算する。				試験後に模範解答を提示し解説する。学生は教科書等を参照して要点を再確認する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	④	✓	第4、6、8、12、14、16、19、23、25、26回目の授業ではレポートを作成し提出する。成績は総合評価の50%に換算する(各5%のレポートが10回提出)。成績評価は配布するルーブリックに基づいて行う。				提出されたレポートを教員が確認しフィードバックをする。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
成果発表	①	✓	第27回～30回は提示された精神障害における治療方法の課題を文献検索や資料収集を行い、それをスライドにまとめて、発表する。課題となった治療方法を理解しているか、患者への関わりにおける留意点などを発表の中で説明できるかを評価する。成果発表の成績は総合評価の5%に換算する。成績評価は配布するルーブリックに基づいて行う。				授業での発表時に適宜フィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	本科目を担当する教員は作業療法士として5年以上の実務経験を有している。						
実践的授業の内容	テキストと併せて疾患や患者像、作業療法の実践方法について視覚教材、ロールプレイなどを用いることで学生の体験的な理解に繋げる。また臨床における治療で得た知見に基づき講義を展開する。さらに、国家試験への準備に繋げる。						
そ の 他	本科目は対面授業を実施するため、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業の参加を認めない。 なお、今後の新型コロナウイルス感染症の状況など、社会情勢によっては再度シラバスを変更する可能性がある。また、授業形式を遠隔授業とする場合がある。						